

特別陳列

鎌井松石 の 三重本草

1月4日(水) - 2月12日(日)

9:30~17:00 月曜休館

3階サルビアギャラリー 入場無料

鎌井松石（1812～1890）は医者であると同時に本草学者としても有名で、四日市はもとより三重県内を踏査して、その研究の成果を「三重本草」にまとめました。完成した「三重本草」は東京の文部省に納められましたが、残念なことに関東大震災で焼失して残っていません。

その幻の「三重本草」を再現する手がかりとなる資料が、市内小山田の鎌井家に残されていました。松石の残した貴重な資料は、平成八年に鎌井家から四日市市に寄贈され、博物館の収蔵庫内で保管されています。今回、その中から33点を特別に展示します。



四日市市立博物館

駅から5分！プラネタリウムのあるミュージアム

展示資料

三重本草稿 18冊

卷一、卷二、卷三、卷五、卷十三、卷十六、
卷十七、卷二十、卷二十一、卷二十二、卷二十五、
卷二十七、卷二十九、卷三十二、卷三十七、
卷四十五、卷四十六、卷四十七

三重本草稿附録 3冊

卷九、卷十四、卷十九

再查三重本草博物地誌稿 5冊

卷一、卷四、卷十一、卷十四、卷十七

紀伊・志摩水族写生 乾・坤 2冊

大相溪大台山巡回紀行 1冊

三重古事記稿 卷四 1冊

神風古誌 卷五 1冊

鉾礦品類見本 1点

岩石等標本 1点



展示のようす